

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-5 環境保全の推進
---------	--------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

廃棄物対策課長 伊藤 耕

電話番号

0852-22-6173

事務事業の名称	市町村の3R施策推進事業	
目的	(1) 対象	市町村又は一部事務組合
	(2) 意図	廃棄物の排出量削減、再生利用量の増加を実現するための効果的な施策を実施してもらう
事業概要	各市町村等における一般廃棄物の処理実態を把握し、分析・公表することにより、市町村の3R施策の推進を図る。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 調査実施市町村・一部事務組合の割合	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
		取組目標値						
	式・定義 調査実施市町村・一部事務組合数/調査対象市町村・一部事務組合数	実績値	100.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	832	1,144
うち一般財源(千円)	832	1,144

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない。
---------------------	--------------------------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

すべての市町村・一部事務組合の協力を得て調査を行うことができた。

6. 成果があったこと (改善されたこと)

- 県内の各市町村等が、他の市町村等のごみ処理の状況を把握しながら3Rの取り組みができるよう、県内の一般廃棄物処理の実態調査を行い、その結果を取りまとめて公表(県ホームページに掲載)した。
- 調査結果は市町村における一般廃棄物処理施設整備のための計画策定に当たって活用されるなどごみ処理の目標設定に利用されている。

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

なし

②困っている状況が発生している「原因」

なし

③原因を解消するための「課題」

なし

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

引き続き、市町村等のごみ処理の状況把握に努めるとともに、災害廃棄物処理計画の策定に向け、災害廃棄物の処理や再生利用のための情報提供を行っていく。

9. 追加評価 (任意記載)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。